

取扱説明書

ブレーキ付

チップソーカッター

LA120

目次	頁
はじめに	1
1. 安全上の注意	2
2. 各部の名称	5
3. 仕様	5
4. 切断材	6
5. 購入時の点検	6
6. 使用方法	6
6-1. 刃物の交換	6
6-2. 電源への接続	8
6-3. スイッチの操作	10
6-4. バイスの操作	11
6-5. その他の調整	13
7. 切断作業	13
7-1. 作業前の点検・準備	13
7-2. 切断方法	15
7-3. 移動について	17
8. 点検・整備	17
8-1. 刃物	17
8-2. カーボンブラシ	18
8-3. トラブルチェック	19



注意：安全のため、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。また、いつでもご覧いただけるよう、大切に保管してください。

はじめに

このたびは、新ダイワのチップソーカッターをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

- この取扱説明書は、本機を安全に正しく使用していただくために作成しています。
本機の取り扱いを誤りますと事故や故障の原因となりますので、ご使用前には必ずこの取扱説明書をお読みください。

- 本機の取扱いは、この取扱説明書の内容を理解し、安全な取り扱いができる人が行ってください。

- 本機を貸し出すときは、必ず取扱説明書を添付してください。

- 取扱説明書は、いつでもご覧いただけるように大切に保管してください。

■チップソーカッターは高速で回転する刃物で鉄工材などを切断する機械です。
事故や故障の原因となりますのでこの用途以外で使用しないでください。

■この取扱説明書では、注意事項のランクを下記のように区分しています。

 **警告**：取り扱いを誤ると、死亡または重傷を負う可能性がある場合。

 **注意**：取り扱いを誤ると、中程度の傷害や軽傷を負う可能性がある場合、および物的損害が発生する可能性がある場合。

<注意>：その他の注意事項。

- 『 **注意**』に記載した事項でも、状況によっては重大な事故に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

1. 安全上の注意



警告：漏電により感電するおそれがあります。

- 雨中では使用しないこと。
- 本機がぬれたときは、完全に乾燥させて使用すること。
- 本機は接地（アース）して使用すること。
- 感電の危険性が高い所（水気の多い場所や鉄板の上など）での作業が必要となった場合は、必ず漏電しゃ断器が設置された電源を使用すること。
- 電源プラグ（プラグアダプターも含む）の抜き差しは、ぬれた手で行わないこと。



警告：傷ついた電源コードで感電するおそれがあります。

- 電源コードに切断火花が掛らない位置に配線すること。
- 電源コードが傷ついたまま、使用しないこと。
- 電源コードを油や薬品および高熱なものに触れさせないこと。
- 電源コードを鋭利なものに触れさせないこと。
刃物で切るなどして電源コードを傷つけたときは、切り口に触れずに、ただちに電源プラグをコンセントから抜くこと。



警告：刃物が不意に回りだし、けがをするおそれがあります。

- 点検・整備、刃物の交換、移動、すえ付けは、電源プラグをコンセントから抜いて行なうこと。
- スイッチを入れたまま、電源プラグをコンセントに差し込まないこと。
- 切断中に刃物が止まったときは、スイッチを切って、ハンドルを持ちあげること。
- 停電になったときは、スイッチを切って電源プラグをコンセントから抜いておくこと。
- 使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いておくこと。



警告：回転する刃物でけがをするおそれがあります。

- 切断材の取り付け、取り外しはスイッチを切って刃物が停止してから行なうこと。
- ブレーキが作動して反動があるため、スイッチを切った直後はハン

ドルをしっかり保持すること。

- 回転中の刃物に手や身体を近づけないこと。
- スイッチを入れたままでの放置や移動はしないこと。
- 改造したり、保護カバー（プロテクタなど）を取り外して使用しないこと。



警告：刃物の破片や切断火花などが飛散し、けがをするおそれがあります。

- 作業者以外を作業場へ近づけないこと。
- ベッドの上や下にある障害物や切断片は、取り除いておくこと。
- 切断材は、切断中にずれないように、しっかりバイスで固定すること。
また、切断材がずれた場合は、切断を中止してバイスを締めなおすこと。
- 切り落とし側が100mm以下の場合、切断材が跳ぶことがあるので、切り終りはゆっくり押さえること。
- 保護カバー（プロテクタなど）を取り外して使用しないこと。
- プロテクタおよびロアガードの動きが悪いときは、そのまま使用しないこと。
- 切断材に刃物を当ててスイッチを入れないこと。
- ヒビ割れ・欠け・曲がりや異常摩耗がある刃物は使用しないこと。
- 刃物を確実に締め付けて使用すること。
- 使用した工具は、本機から取り外しておくこと。
- 刃物の線上に身体を置かないようにして試運転（空転）を行い、異常振動（刃物の面振れなど）や異常音があったときは、そのまま使用しないこと。
- 純正刃物以外は使用しないこと。
- 砥石（別売品）の取扱（保管、交換、試運転など）は労働安全衛生規則で定められた特別教育を受けた人が行なうこと。
- 砥石（別売品）を使用する場合、砥石の取扱説明書も読むこと。
- 保護めがね・耳栓・安全靴を着用すること。
- 切断中、刃物に身体を近づけないこと。



警告：回転部（刃物）に巻き込まれ、けがをするおそれがあります。

- 身体に合った衣服を着用し、そで口・胸元を整えること。
- 手袋は、編み手袋は使用しないこと。

- ネクタイやアクセサリなどのぶらつくものは身に付けないこと。
- 長い髪は束ねて、整えること。



注意：切断火花や高温になった切断材で、やけどするおそれがあります。

- 手袋・帽子・長袖・長ズボンなどを着用し、できるだけ肌を露出しない服装で作業すること。
- 切断直後は、素手で切断材・刃物・火花カバーなどに触れないこと。



注意：モーターのブラシから出る火花や切断火花で、火災になるおそれがあります。

- ガソリン・シンナー・ガスなど、引火性のある危険物や可燃物をまわりに置かないこと。



注意：電源コードの接触不良・内部断線・短絡による発熱および放熱不足で、火災になるおそれがあります。

- コード部分を持って、電源プラグをコンセントから抜かないこと。
- 電源プラグ（プラグアダプターも含む）は、根元までしっかりコンセントに差し込むこと。
- 電源コードをストーブなどの高熱にさらさないこと。



注意：絶縁が低下し、感電するおそれがあります。

- 本機は、水にぬれる所や湿気の多い所で保管しないこと。



注意：刃物が異常に高回転となり、けがをするおそれがあります。

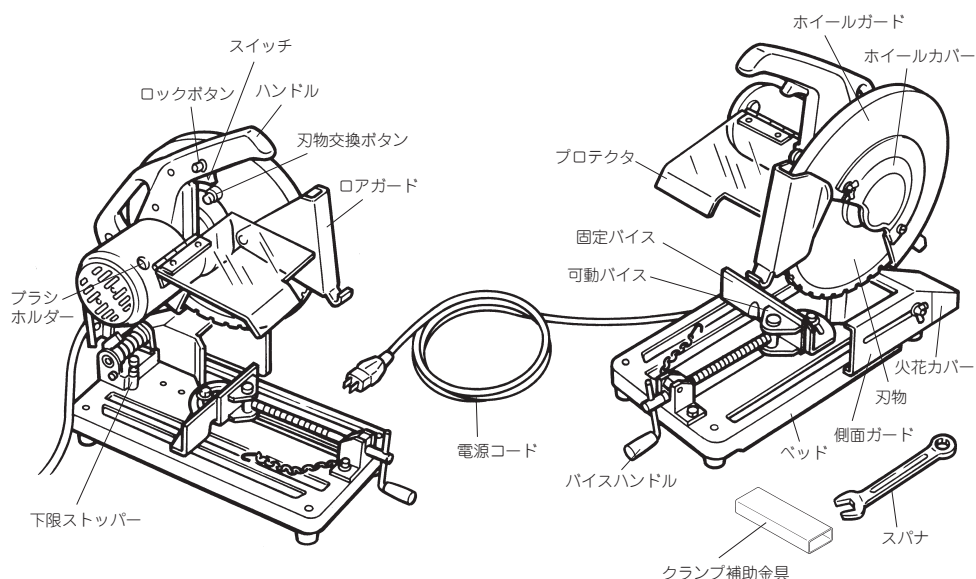
- 電源電圧が115Vを超えない範囲で使用するここと。



注意：呼吸器疾患をおこすおそれがあります。

- 粉じんが発生する切断作業は防塵マスクを着用すること。

2. 各部の名称



3. 仕様

モ デ ル 名		LA120			
定 格 電 圧		100V			
周 波 数		50/60Hz			
定 格 電 流		15A			
定 格 消 費 電 力		1400W			
無負荷主軸回転速度		3200min ⁻¹			
固定バイス揺動角度		45°（90°）			
バイスつかみ幅		1段0～153 2段35～190			
切 断 能 力		角材	90°	幅×高 90× 90 1段目	
				幅×高 100×100 2段目	
		丸材	45°	幅×高 80× 80 1段目	
				90°	φ 115 1段目
刃 物	標準品	鉄工用チップソー（φ308×1.8t × φ25.4）			
	別売品	レジノイド切断砥石（φ305×2.7t × φ25.4）			
質 量		16.7kg（刃物なし）			
付 属 工 具		クランプ補助金具、スパナ（17×17）			

※仕様は予告なく変更することがあります。

4. 切断材

被切断材例	切断に不向きな物の例
1. 水道、ガス工事関係 ・SGP（ガス）管 ・硬質塩化ビニール内面被覆鋼管 ・硬質塩化ビニール外面被覆鋼管 ・硬質塩化ビニール内外面被覆鋼管 2. その他 ・形鋼 ・鋼板 ・丸棒 ・寸切ボルト ・アルミサッシ	・ステンレス管 ・メッキパイプ ・石綿管（トミジパイプ） ・炭素鋼鋼材

*標準チップソー使用時

5. 購入時の点検

傷害危険の注意事項



警告

- 点検を行なうときは、電源プラグをコンセントに差し込まない。

箱から本機を取り出して、次の点検を行ってください。

- 本機の外観に損傷がないか
- ネジ類のゆるみや脱落がないか
- 付属品に欠品がないか〔P5参照〕

異常や欠品があったときは、お求めの販売店が弊社営業所へご連絡ください。

6. 使用方法

6-1. 刃物の交換

傷害危険の注意事項



警告

- 電源プラグをコンセントから抜いて行なう。
- 刃物を取り扱う時は手袋を着用する。
- 刃物の面振れがでないよう、フランジなどの当たり面に付いた切りくずはきれいにふき取る。
- 使用した工具は、本機から取り外す。

- 砥石（別売品）を使用する場合、砥石の取扱説明書も読む。
- 砥石（別売品）の取扱（保管、交換、試運転など）は、労働安全衛生規則で定められた特別教育を受けた人が行なう。

〈注意〉

純正刃物を使用してください。

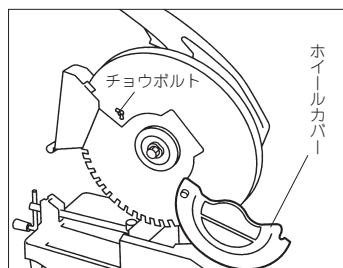
純正品以外の刃物を使用すると、次の不都合が生じます。

- 本機の品質が保証できません。
- チップソーの切断性能が十分発揮されません。
- 刃物ロック機構が使えません。

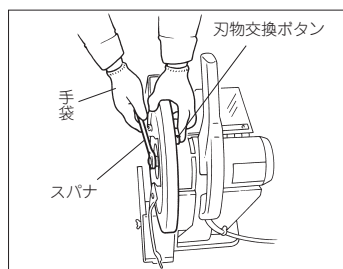
刃物の交換は、次の手順で行ってください。

（１）取り外し

↓
1 ホイルカバーのチョウボルトをゆるめ、ホイルカバーを開きます。



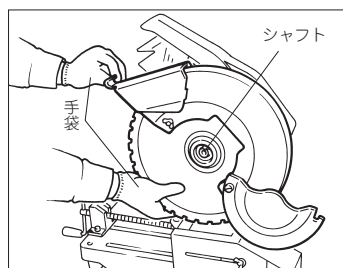
↓
2 刃物交換ボタンを押しながら刃物を手でゆっくり回し、刃物交換ボタンが奥まで入るのを確認します。



↓
3 刃物交換ボタンを押したまま、スパナで締め付けボルトを左に回してゆるめます。

↓
4 締め付けボルトとアウターフランジをはずします。

↓
5 刃物をシャフトから斜めに浮かし引き抜きます。



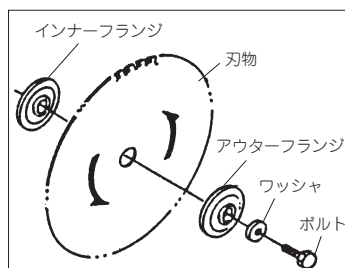
(2) 取り付け

↓1 シャフト、インナーフランジなどについている切りくずをきれいに取りのぞきます。

特にインナーフランジの当たり面に切りくずが残っていると刃物がふれる原因になりますので注意が必要です。

↓2 刃物の回転方向を、図のように合わせて取り付けてください。

↓3 アウタフランジをセットし、刃物の穴位置を合せながら刃物交換ボタンを最後まで押し込みボルトを確実に締め付けてください。



〈注意〉

砥石を取り付ける場合は、刃物交換ボタンが使用できません。市販の26mmスパナでアウタフランジを固定しながらボルトを締め付けてください。

6-2. 電源への接続

(1) 電源コードと電源プラグ

感電危険の注意事項



警告

- 電源コードに切断火花が掛らない位置に配線する。
- 電源プラグ（プラグアダプターも含む）の抜き差しは、ぬれた手で行わない。
- 電源コードが傷ついたまま使用しない。
- 電源コードを油・薬品や高熱・鋭利なものに触れさせない。

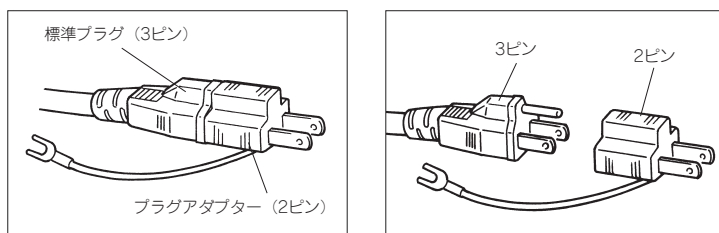
火災危険の注意事項



注意

- コードを持って電源プラグを引き抜かない。
- 電源プラグ（プラグアダプターも含む）は、根元までしっかり差し込む。
- 電源コードをストーブなどの高熱にさらさない。

接続する電源コンセントが3ピン用であれば、このアダプターを抜きとって使用してください。

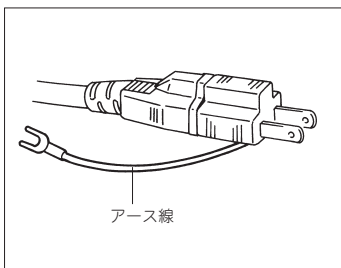


警告

- 本機は接地（アース）して使用する。
- 感電の危険性が高い所（水気の多い場所や鉄板の上など）での作業が必要となった場合は、必ず漏電しゃ断器が設置された電源を使用する。

警告

- 本機のアース線をガス管に接続しない。



(3) 電圧と延長コード

傷害危険の注意事項



注意

- 電源電圧が115Vを超えない範囲で使用する。

本機の使用電源は単相交流100Vです。電源コードを延長するときは、電圧降下を起こさないよう、十分な太さのできるだけ短い延長コードを使用してください。

下表は、コードの太さに対し、本機に使用できるコード長さを示します。

コードの太さ（公称断面積）	2mm ²	3.5mm ²	5.5mm ²
延長コードの長さ	15m 以内	30m 以内	50m 以内

6-3. スイッチの操作

傷害危険の注意事項

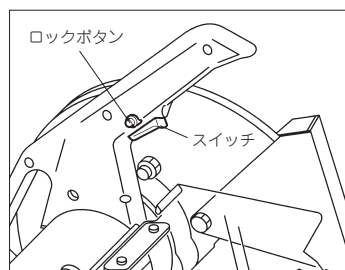


警告

- ブレーキが作動して反動があるため、スイッチを切った直後はハンドルをしっかり保持する。

スイッチを指で引くと『入』となり、刃物が回転します。

スイッチから指を離すと『切』となり、刃物の回転が停止します。



■オンロックボタンによる連続運転

オンロックボタンは、スイッチを『入』で固定させるものです。

スイッチを引いたままオンロックボタンを押し込むと、スイッチから指を離してもスイッチが『切』とならず『入』で固定されます。

もう一度スイッチを引くと、オンロックボタンが飛び出し『入』の固定が解除されます。

〈注意〉

- オンロックボタンにより、スイッチから指を離して使用するとき、瞬時にスイッチを切ることができないので、注意が必要です。

6-4. バイスの操作

傷害危険の注意事項



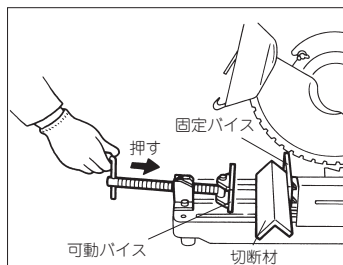
警告

- 切断材の取り付け取り外しは、スイッチを切って刃物が停止してから行なう。

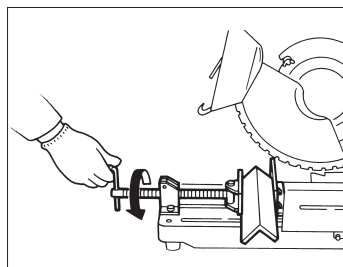
(1) 締め付け方



可動バイスと固定バイスの間に切断材を入れて、バイスハンドルを押し、切断材に可動バイスを当てます。

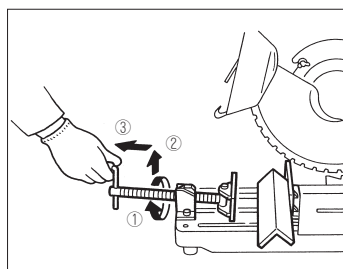


切断材に可動バイスが当たったらバイスハンドルを右に回して確実に締め込みます。このとき、切断材が動かないことを必ず確認してください。



(2) 取り外し方

切断作業が終わったらバイスハンドルを左に2～3回、回してゆるめ、上に引き上げるようにして手前に引きます。



(3) 二段バイスについて

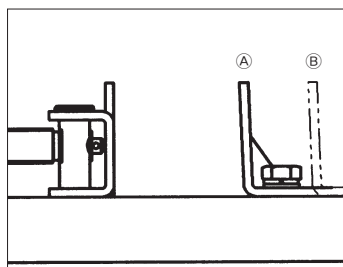
固定バイスの移動

固定バイスの位置は、右図のように2段階に移動させることができます。

バイスつかみ幅

① 0～153mm ② 35～190mm

切断材に合わせて移動させボルトでしっかり固定してください。

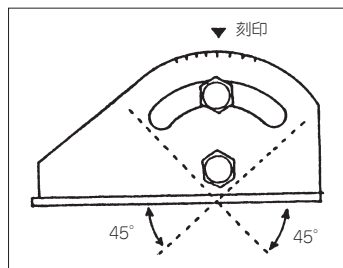


(4) 角度切りについて

ボルトをゆるめ、固定バイス角度目盛りをベットの刻印に合わせて締付けてください。左右45°までの角度切りが可能です。

〈注意〉

角度切りを行なう場合は特に切断材をしっかり固定してください。切断材が動いた場合チップが切断材に食い込み、チップ飛びや欠けの原因になります。



(5) 各種切断材のクランプ方法

切断材のクランプ方法で、チップソーの切れ味や寿命に大きな影響をあたえます。

切断長（刃物が切断材の中を通る長さ）を短かくするようにクランプするのがコツです。

代表的な切断材のクランプ方法

	適正	不適正
アングル		
C チャンネル		
平 板		
角パイプ		

6-5. その他の調整

傷害危険の注意事項

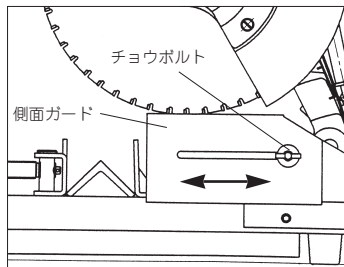


警告

- 電源プラグをコンセントから抜いて行なう。

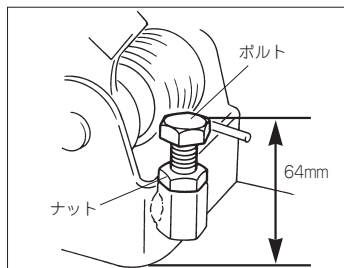
(1) 側面ガードについて

- 角度切りや固定バイスを移動させて切断する場合は、切断材と側面ガードのすきまが小さくなるように側面ガードの位置を調整してチョウボルトでしっかり固定してください。



(2) 下限ストッパーについて

- 砥石を使用する時は、下限ストッパーを取り外してください。砥石が小さくなるまで有効に使えます。
ナットをスパナでゆるめて、ボルトを取り外してください。
- チップソーを使用する時は、必ず下限ストッパーを取りつけてください。
ベッド面より高さが64mmになるように調整して、ナットをしっかりと締め付けてください。



7. 切断作業

7-1. 作業前の点検・準備

感電危険の注意事項



警告

- 電源コードが傷ついたまま、使用しない。

傷害危険の注意事項



警告

- 作業前の点検や準備は電源プラグをコンセントから抜いて行なう。

- ベッドの上や下にある障害物や破片は取り除いておく。
- 純正の刃物以外は使用しないこと。
- ヒビ割れ・欠け・曲がりや異常摩耗がある刃物は使用しない。
- 刃物を確実に締め付けて使用する。
- 使用した工具は、本機から取り外しておく。
- プロテクタおよびロアガードの動きが悪いときは、そのまま使用しない。
- スイッチを入れたまま、電源プラグをコンセントに差し込まない。
- 保護めがね・耳栓・安全靴を着用する。
- 手袋・帽子・長袖・長ズボンなどを着用し、できるだけ肌を露出しない服装で作業する。
- 刃物の線上に身体を置かないようにして、試運転（空転）を行い、異常振動（刃物の面振れ）や異常音があったときは、そのまま使用しない。
- 砥石（別売品）を使用する場合、砥石の取扱説明書も読む。



注意

- 粉じんが発生する切断作業は、防塵マスクを着用する。

火災危険の注意事項



注意

- 引火性のある危険物や可燃物をまわりに置かない。
- 電源プラグ（プラグアダプターを含む）は、根元までしっかりコンセントに差し込む。

作業前の点検・準備は、次の手順で行ってください。

- 1 作業場の障害物・引火性のある危険物・可燃物を取り除きます。
- 2 刃物にヒビ割れ・欠け・曲がりや異常摩耗がないか点検します。〔P18参照〕
- 3 刃物の締め付けボルトがゆるんでいないか点検します。〔P7参照〕
- 4 プロテクタおよびロアガードが正常に動くか点検します。
- 5 電源コードが傷ついていないか点検します。

 電源コードを電源に接続します〔P9参照〕

 保護めがねと耳栓を着用します。

 試運転をして、異常振動（刃物の面振れ）・異常音がないか確認します。

7-2. 切断方法

感電危険の注意事項



警告

- 雨中では使用しない。
- 電源コードに切断火花が掛らない位置に配線する。
- 電源コードを油や薬品および高熱なものに触れさせない。
電源コードを傷つけたときは、切り口に触れずに、ただちに電源プラグをコンセントから抜きとる。
- 電源プラグ（プラグアダプターも含む）の抜き差しは、ぬれた手で
行わない。

傷害危険の注意



警告

- 保護カバー（プロテクタなど）を取り外して使用しない。
- 切断材は、切断中にずれたりしないよう、しっかりバイスで固定する。
また、切断材がずれた場合は、切断を中止してバイスを締めなおす。
- 切り落とし側が100mm以下の場合、切断材が跳ぶことがあるので、切り
り終りはゆっくり押さえる。
- 切断直後は、刃物・火花カバー・切断材など高温になるので素手で
触れない。
- 切断材に刃物を当てて、スイッチを入れない。
- 使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いておく。
- 砥石（別売品）を使用する場合、砥石の取扱説明書も読む。

火災危険の注意事項



注意

- コード部分を持って、電源プラグをコンセントから抜かない。
- 電源コードをストーブなどの高熱にさらさない。

切断作業は、次の手順で行ってください。

↓1 切断材をバイスでしっかりと固定します。(P11参照)

↓2 スイッチを入れます。

↓3 刃物の回転が完全に上ってから、ハンドルを静かに切断材の上におろします。
〈注意〉刃物を急激に切断材に当てないでください。

↓4 そのまま軽くハンドルを押しさげて切断します。

【チップソー切断のポイント】

1. 切断は、火花が一番少ない状態を目安に行ってください。
2. 少し押え気味で切断してください。
切断スピードが最も速くなる強さで押えてください。強く押えすぎてモータロックさせるとチップ欠け、基板のヒビ割れの原因となります。
逆に弱すぎるとチップの摩耗、焼き鈍りの原因となります。
3. チップの摩耗が進み、火花が出始めたら、さらに少し押え気味で切断を行ってください。チップの自生作用により切れ味がよみがえります。
4. 切断中小さいチップ欠けは発生しますが、切断に支障ありません。そのままご使用ください。

【砥石切断のポイント】

1. 砥石から出る切削火花が一番多く出る状態を保ちながら切断してください。
〈注意〉無理にハンドルを押えないでください、切断効率が悪くモータ焼損の原因となります。

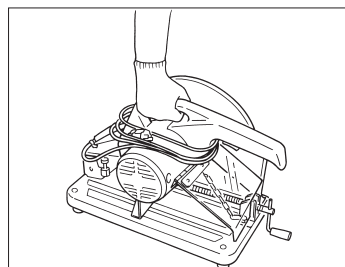
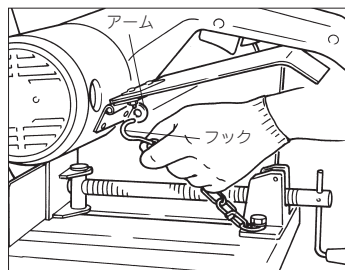
↓5 切断が終わったらハンドルを持ち上げて、スイッチを切ってください。
〈注意〉切断中にスイッチを切ると、チップ飛びや欠けの原因になります。

↓6 刃物が完全に止ってから、切断材を本機からはずしてください。

↓7 ベッドの上下や火花カバーの中にある、切り粉や切断片を取り除いてください。

7-3. 移動について

- 1 電源プラグを電源から抜きます。
- 2 フックをアーム部に引っ掛けて固定します。
- 3 ハンドル部を持って移動します。



8. 点検・整備

本機を常に良好な状態で使用できるよう、定期的に点検・整備を行ってください。

8-1. 刃物（標準付属品チップソー）

傷害危険の注意事項



警告

- 電源プラグをコンセントから抜いて行なう。
- 刃物や取り付け状態に異常があるときは、そのまま使用しない。
- 砥石（別売品）を使用する場合、砥石の取扱説明書も読む。

刃物の異常や取り付けが悪いまま使用すると、異常振動や異常過熱を起こし、刃物や本機が破損するおそれがあります。

(1) 刃物の点検

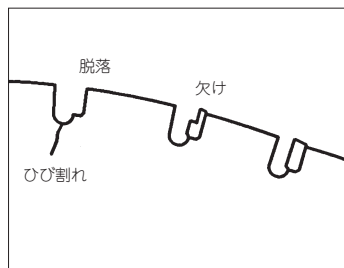
次の項目を点検し、異常があるときは交換してください。

- 曲がり
刃物の基板が平面でない。
- ヒビ割れ
刃物の基板部にできたキレツ。

- 欠け・脱落

刃物のチップに部分的にできた大きな欠けや脱落。

〈注意〉 標準付属品チップソーは再研磨ができません。摩耗して切れ味が低下したら新品と交換してください。



(2) 刃物取り付けの点検

次の項目を点検し、異常があるときは整備してください。

- 面振れ
本機に取り付けて回転させたときの刃物側面のブレ。
- ボルトの締め付け不足。

8-2. カーボンブラシ

感電危険の注意事項



警告

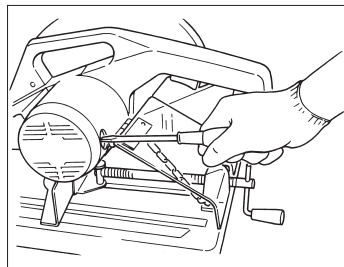
- 電源プラグをコンセントから抜いて行なう。

カーボンブラシの摩耗によるモーターの故障を防ぐため、定期的に点検してください。

カーボンブラシの点検と交換は、次の手順で行ってください。

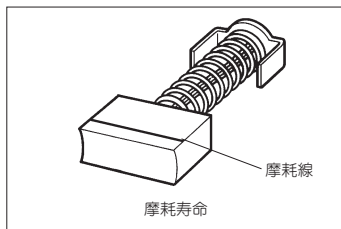
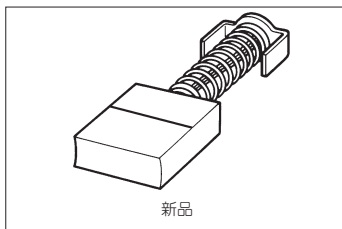
↓1 電源プラグをコンセントから抜きます。

↓2 モーターケース後部のホルダーキャップ（2個）を外します。



3 ↓ カーボンブラシを取り出します。

4 ↓ 摩耗線まで摩耗していたら交換します。



〈注意〉

- カーボンブラシは、お求めの販売店が弊社営業所にて純正品をお買い求めください。

5 ↓ カーボンブラシを入れてホルダーキャップを締め付けます。

8-3. トラブルチェック

原因 \ 現象	回転しない	振動が大きい	力が弱い	モーターの過熱	切れ味が悪い	処置・対策
電源ブレーカの作動	○					電源ブレーカをリセットする
カーボンブラシの摩耗寿命	○					カーボンブラシを交換する
コードの断線	○					販売店で修理する
スイッチの故障	○					
モーターの故障	○		○			
刃物のひび割れ・欠け・曲がり		○				刃物を交換する
刃物の摩耗寿命（刃部がない）					○	
刃物の面振れ		○				ブレードとフランジの当り面を清掃する
刃物とフランジのすべり		○	○			ボルトを確実に締め付ける
延長コードが長い、または細い			○			適正なコードを使用する
切断時の押さえ力が強い				○		押さえ力を小さくして切断する

株式会社やまびこ

〒198-8760 東京都青梅市末広町 1-7-2 Tel 0428-32-6181

●やまびこ産業機械株式会社

〒731-3167 広島県広島市安佐南区大塚西6-2-11 Tel 082-849-2005 (代)

・東北支店

〒984-0002 宮城県仙台市若林区卸町東5-1-50 Tel 022-390-5001 (代)

・札幌営業所

〒004-0041 北海道札幌市厚別区大谷地東1-2-20 Tel 011-891-3116 (代)

・関東支店

〒198-0025 東京都青梅市末広町1-7-2 Tel 0428-32-6777 (代)

・首都圏営業所

〒134-0083 東京都江戸川区中葛西6-1-7 Tel 03-3687-5771 (代)

・中部支店

〒454-0826 愛知県名古屋市中川区小本本町1-75 Tel 052-362-2281 (代)

・関西支店

〒556-0022 大阪府大阪市浪速区桜川4-11-20 Tel 06-6561-8484 (代)

・中四国支店

〒731-3167 広島県広島市安佐南区大塚西6-2-11 Tel 082-849-2400 (代)

・九州支店

〒812-0006 福岡県福岡市博多区上牟田3-5-22 Tel 092-411-9801 (代)

・鹿児島営業所

〒890-0073 鹿児島県鹿児島市宇宿2-23-18 Tel 099-257-6801 (代)

●やまびこ北海道株式会社

〒004-0041 北海道札幌市厚別区大谷地東1-2-20 Tel 011-891-2249 (代)

●やまびこ東北株式会社

〒984-0002 宮城県仙台市若林区卸町東5-1-50 Tel 022-288-0511 (代)

●やまびこ東部株式会社

〒198-0025 東京都青梅市末広町1-7-2 Tel 0428-32-1091 (代)

●やまびこ中部株式会社

〒452-0031 愛知県清須市西枇杷島町宮前1-39 Tel 052-502-4111 (代)

●やまびこ西部株式会社

〒701-0221 岡山県岡山市南区藤田566-159 Tel 086-296-5911 (代)

●やまびこ九州株式会社

〒816-0943 福岡県大野城市白木原5-3-7 Tel 092-573-5361 (代)

ご用命の際はお願いいただいた販売店へご連絡ください。

LA120

X750-020 78 1

X750 810-040 1

© 2015 株式会社やまびこ 著作権法により無断での複製、転載などは禁止されております。